

2022 年度夏期派遣 セルジー・パリ大学(フランス)

人文学部フランス語学科 3 年次生(派遣時)

● 「留学前にやっておいて良かったこと」「留学前にやっておくべきだったこと」があれば具体的に教えてください。

● やっておいてよかったこと

→ 留学での明確な目標づくり、留学選考面接対策(留学のモチベーションの原点として自分の支えになります！)、日記の習慣づけ。

● やっておくべきだったこと

→ フランスの名所、歴史的建造物などの知識収集。これがあるかないかで街散策や旅行の楽しさが全然違います！

● 語学能力を高めるため、どのような方法で勉強をしましたか。効果的な学習方法があれば教えてください。

最も効いたと思う方法はやはり現地学生との交流です。発音やアクセントも同時に学べますし、現地のフランス語に触れることで教科書に載っていないスラングなども学ぶことも醍醐味だと思います。簡単な文法書や日本で使用していた教科書を数冊持っていきましたが、今はネットに教材が溢れているため結局使いませんでした。ただ、辞書に関しては、紙でも電子でも、一冊あれば便利だと思います。スマホの翻訳アプリも優秀ですが、フランスは全体的に携帯の接続が良くないのと、大学の Wi-Fi に登録するのが少し手間がかかるので、やはり辞書はあった方が便利だと思います。私はディコ仏和辞典を持っていきましたが、語彙が充実している分重かったため、少し肩が凝りました。カシオの電子辞書も用意しましたが、どちらか一つで十分だと思います。スマホに電子書籍の辞書をダウンロードして使うのもいい方法だと思います。

● 留学前と留学後を比べてどのような変化がありますか。具体的に教えてください。(思考や生活スタイルの変化など)

思考が大きく変わりました。人は人、自分は自分という考えが身に付き、他人と比較して落ち込むことが減りました。それによって見た目のコンプレックスや嫉妬の感情も減り、心にゆとりができました。また、生活の中での不安やストレスと日々闘い、ストレスコントロール力が身に付きました。

● 交換留学を終えての感想を教えてください。

私は留学中、正直本当に辛い時期が多く、帰国をモチベーションに過ごしていたほどでした。しかし、この留学は経験してよかったと心から思っているし、この10か月間は今までの人生で一番大きく成長した期間だと思います。この留学で視野が広がり、自分の将来の選択肢が広がりました。

2022 年度夏期派遣 セルジー・パリ大学(フランス)

人文学部フランス語学科 4 年次生(派遣時)

- 「留学前にやっておいて良かったこと」「留学前にやっておくべきだったこと」があれば具体的に教えてください。

語学学校に行くと、すべてフランス語でフランス語を学びました。例えば、半過去や性数の一致等をフランス語で説明されます。それが、最初全くわからず、何言ってるんだ状態でした。留学前に、文法用語をフランス語で覚えておくべきだったなと感じます。フランス語の勉強をしている時に、これはフランス語で何て言うんだろうと考えながら勉強すると現地に行ったときに困らないと思います。

- 「留学先での生活全般について(衣食住、大学生活、旅行等)、教えてください。

セルジーはパリから電車で一時間もかからない場所にあり、スーパーやレストランが近くにあるため、生活していくうえで特に困ったことはありませんでした。強いて言えば、水の性質が異なること(フランスは硬水)によって、料理がうまくいかなかったり、髪や肌に合わなかったり。しかし、だんだんと慣れていったためそこまで問題にはなりません。大学生活は、日本語を学ぶ現地学生との交流がある事や日本よりオープンマインドな人が多いため、友人はすぐできますし、困ったときは周りの人に助けられました。先生方も私たち日本人留学生に対して真摯に対応して頂きました。旅行に関しては、語り切れないくらい楽しみました。

- 留学前と留学後を比べてどのような変化がありますか。具体的に教えてください。(思考や生活スタイルの変化など)

一番変わったなと思うことは、環境に対して考えるようになったことです。特に環境問題についての授業とかを受けたわけではないですが、ヨーロッパで生活していて、なんとなく意識するようになりました。おそらく、ヨーロッパに行って、多くの難民やホームレス、物乞いの人を見て、自分は今までどれだけ贅沢な生活をしてきたのかと感じたことが一つの要因だと感じます。日々の生活で、例えば、水の使用量や節電、肉の消費に関してなどです。一つ一つの行動が地球にある程度影響しているんだという意識を持つことで、少しの我慢も全然苦にならなくなりました。さらにエコな生活は自分自身の健康にも良い影響があると思います。

- 交換留学を終えての感想を教えてください。

一言でいうと、留学してよかったです。10 カ月間、日本語が公用語じゃなく、日本人が持つ文化もない、日本と違う環境にいたことで、さまざまな経験ができました。知らないものを食べたり、違う言語の国行ったり、ゼロから友達を作った事もとても良い経験だと感じています。もちろん、辛いこともありました。街が臭いし汚い所もあったり、風邪をひいたときに周りに頼る人がいなくて自力でどうにかしないと行けなかったり。しかし、そのどれもが自分に対してプラスの影響を与えるものであると確信しています。

2022 年度夏期派遣 セルジー・パリ大学(フランス)

人文学部フランス語学科 3 年次生(派遣時)

- 「留学前にやっておいて良かったこと」「留学前にやっておくべきだったこと」があれば具体的に教えてください。

もっと単語を勉強すればよかったと後悔している。また、英語も話す機会が多かったため、英語もフランス語と同じくらい勉強すべきだった。

- 「留学先での生活全般について(衣食住、大学生活、旅行等)、教えてください。

昼ご飯は現地学生と学食を食べたり、大学の近くに大きなスーパーがあったのでそこで購入して天気の良い日は近くの公園でピクニックしていました。洋服は寮に近くに安い古着屋があったのでそこで購入していました。飛行機、電車、バスをつかって旅行していました。

- 留学中の健康管理について心がけていたことは何ですか。

沢山寝るようにしていました。また、メンタルケアにおいては、一人に時間を作ったり、無理に外出したりしないようにしていました。

- 留学前と留学後を比べてどのような変化がありますか。具体的に教えてください。(思考や生活スタイルの変化など)

語学力はもちろんですが、メンタルが強くなったと思います。また、留学前はネガティブで自分の意見や容姿に対して、自信がなかったけど、現地の学生や留学仲間が褒めてくれたりポジティブな意見を言ってくれたので、ポジティブな人間になりました。

- 交換留学を終えての感想を教えてください。

留学中は本当にきつくて辛いことが沢山ありましたが、留学をするという選択をした自分に感謝したい。語学力はもちろん向上しますが、留学で出会った留学仲間や現地学生は一生の友達です。言語も文化も違う国で生活することで、小さなことに感謝し、常に感謝の心を持つことができるようになった。

2022 年度夏期派遣 セルジー・パリ大学(フランス)

人文学部フランス語学科 3 年次生(派遣時)

- 「留学前にやっておいて良かったこと」「留学前にやっておくべきだったこと」があれば具体的に教えてください。

留学前にやっておいて良かったことは、大学の単位を落とさずに授業を真面目に受けていたことです。留学前にやっておくべきだったことは特にありません。

- 「留学先での生活全般について(衣食住、大学生活、旅行等)、教えてください。

食文化が日本とは大きく違い、私には合わなかったもので、体調が優れない日は多くありました。胃薬や頭痛薬、風邪薬などは持って行ったほうがいいと思います。留学期間はほとんど冬で寒い日が続くので半袖の洋服は最低限で防寒着を持っていくことをお勧めします。セルジー大学は日本に興味のある学生が多く、日本語がとても上手な人も多いので、すぐに友達はできます。しかし授業はフランス語と日本語の両方を使うことが多く、内容を理解するのは簡単なもので、語学力を伸ばすには自主学習が必要不可欠になります。また、休暇の期間がとても長く、大学が休みの日も多いので旅行はたくさん行くことができます。セルジーはパリまで地下鉄一本で行けるので、お出かけはしやすいです。

- 留学前と留学後を比べてどのような変化がありますか。具体的に教えてください。(思考や生活スタイルの変化など)

留学前は、海外で働きたかったり、フランス語を使った仕事をしたいと思っていましたが、留学後は日本で働き、海外は旅行や出張などでたまに行く程度で十分だと思うようになりました。また、卒業後、接客業に就きたい気持ちは変わりませんでした。フランスの接客を受けて日本のおもてなしが世界で評価されている所以を肌で感じました。その一方で、日本人でありながら日本のおもてなしを知らないことに気づき、一から日本が世界に誇るおもてなしを学びたいと思うようになりました。

- 交換留学を終えての感想を教えてください。

フランス人に限らず、海外に友達ができたことは一生の宝だと思います。また、フランスでの 10 か月の経験もこの先出来ることはない貴重な経験になりました。